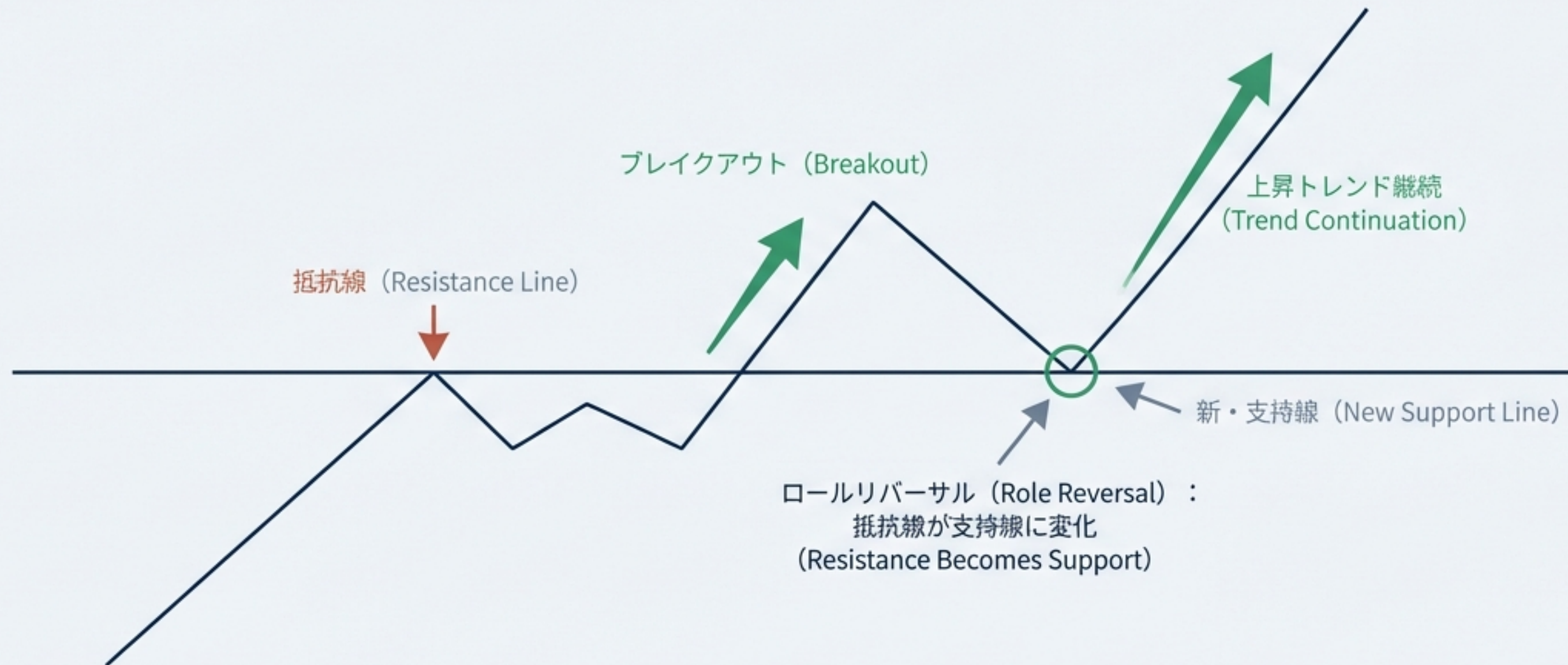


FXトレーダーの必須教養：ロールリバーサル

なぜ「ブレイクアウト」はダマシになるのか？その本質と攻略法。



「抜けたと思ったのに 戻された…」

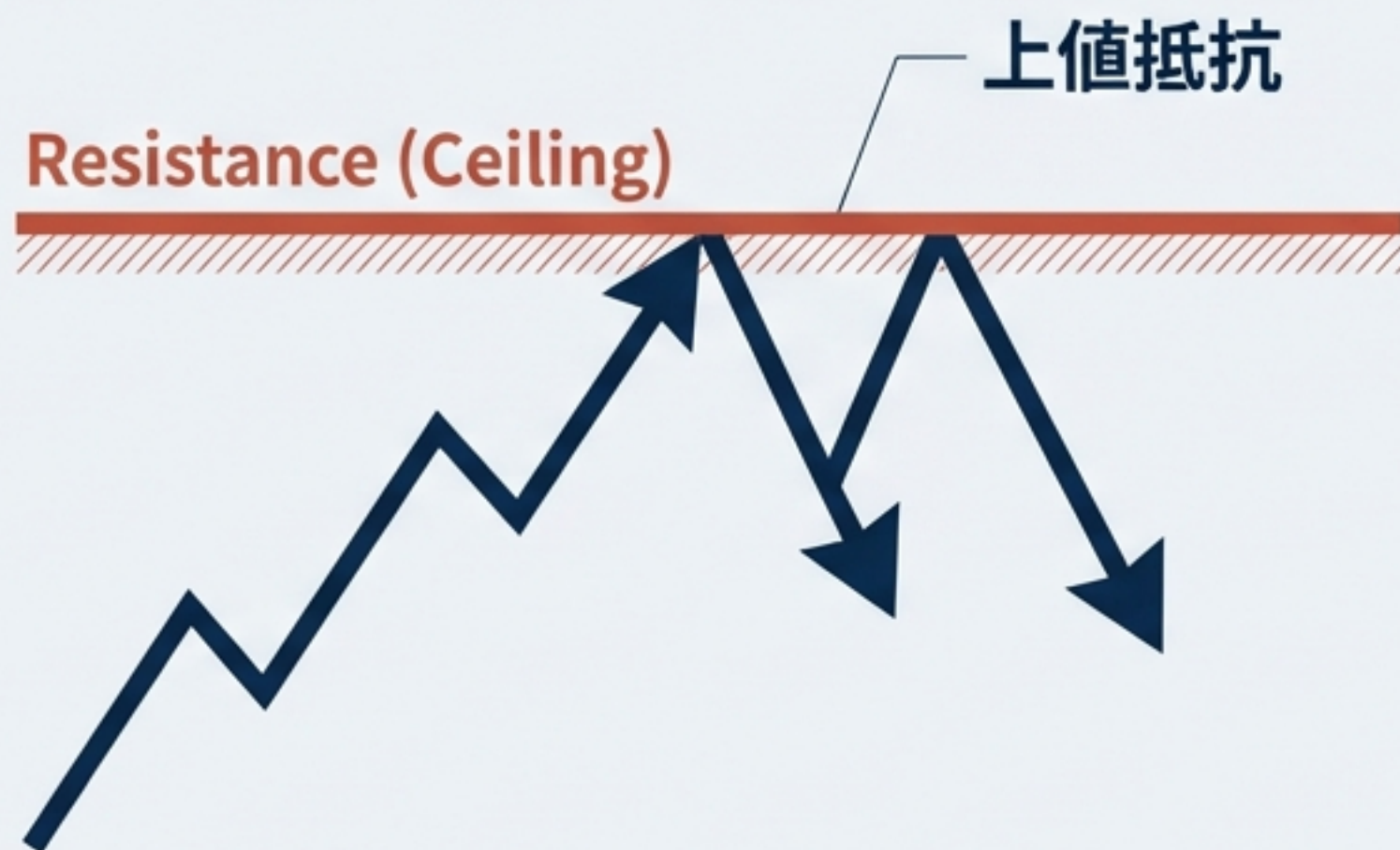
ブレイクアウトで飛び乗って損切
切りになる経験、ありませんか？
それは不運ではなく、構造的な
「誤解」が原因かもしれません。

その敗因は「ロールリバーサル」
の仕組みを理解していないこと
にあります。

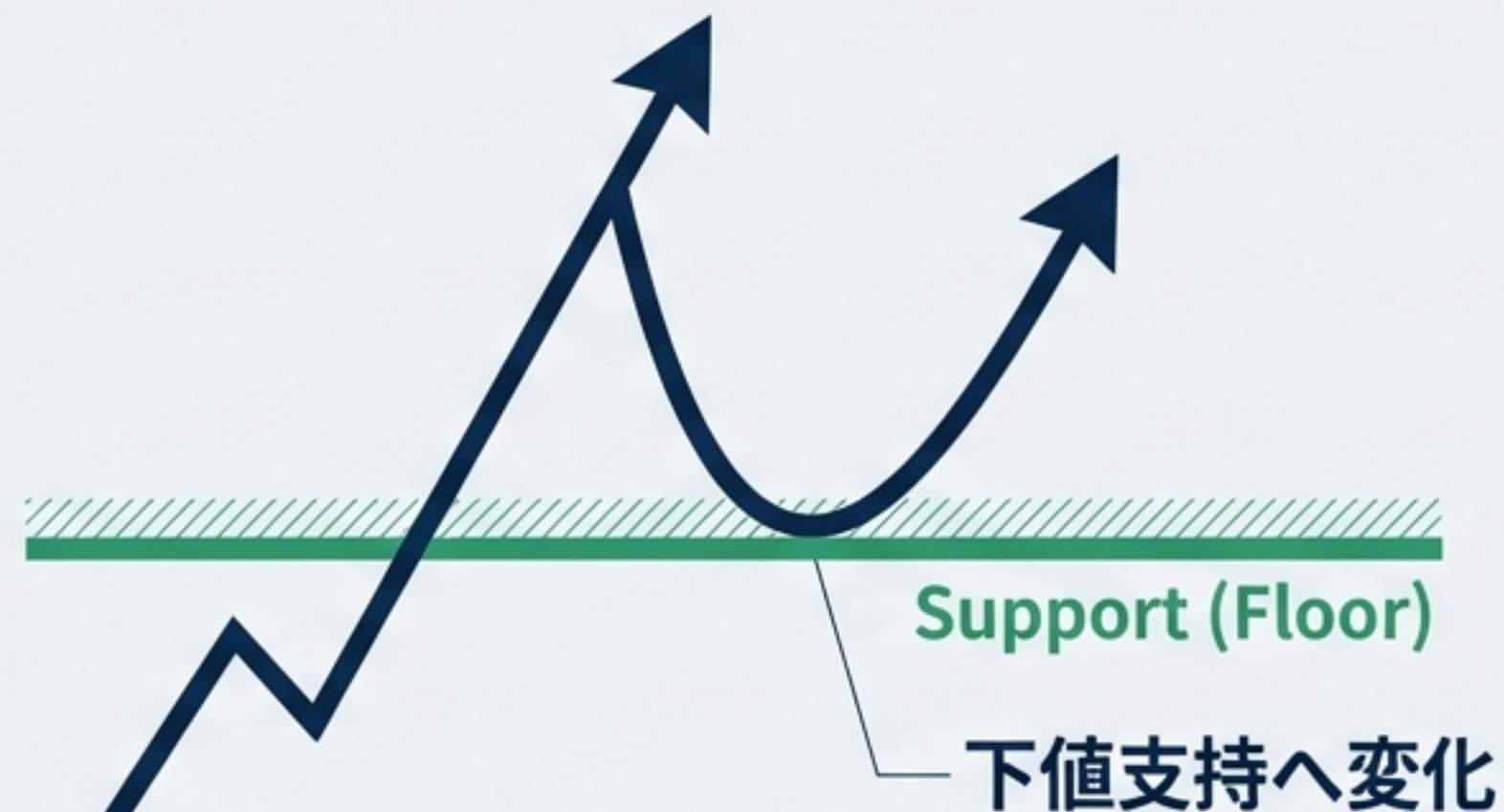


サポ・レジ転換の正体

BEFORE

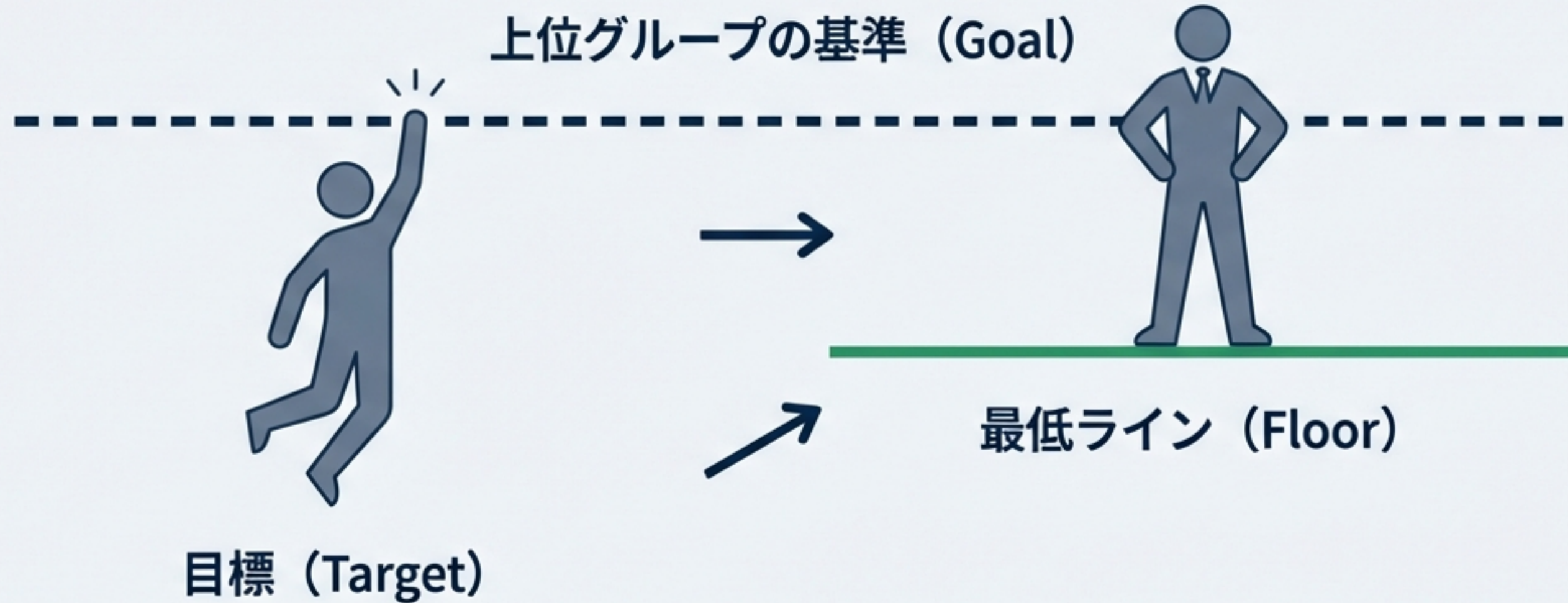


AFTER



ロールリバーサル (Role Reversal) とは、ブレイクされた「レジスタンス」が、今度は「サポート」へと役割を変える現象のこと。「リターンムーブ」とも呼ばれます。

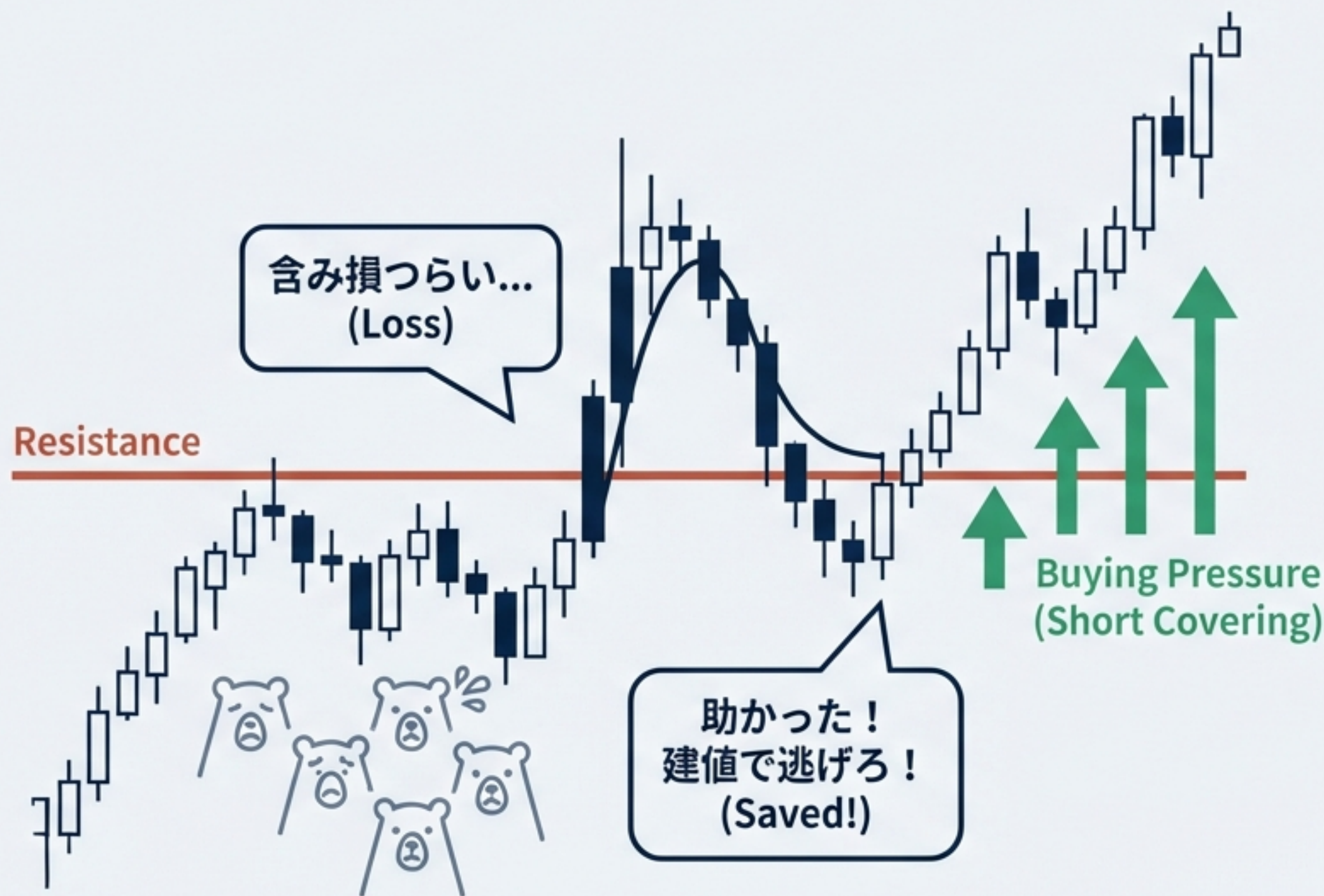
目標ラインが、最低ラインに変わる瞬間



学校の成績で例えるなら、「上位グループ入り」の目標ラインを超えた瞬間、そのラインは「最低限キープしたいライン」に変わります。

これと同じ心理が相場でも働きます。一度抜けた天井は、絶対に割りたくない床になるのです。

なぜ反発するのか？正体は「逃げ遅れた人たちの決済注文」

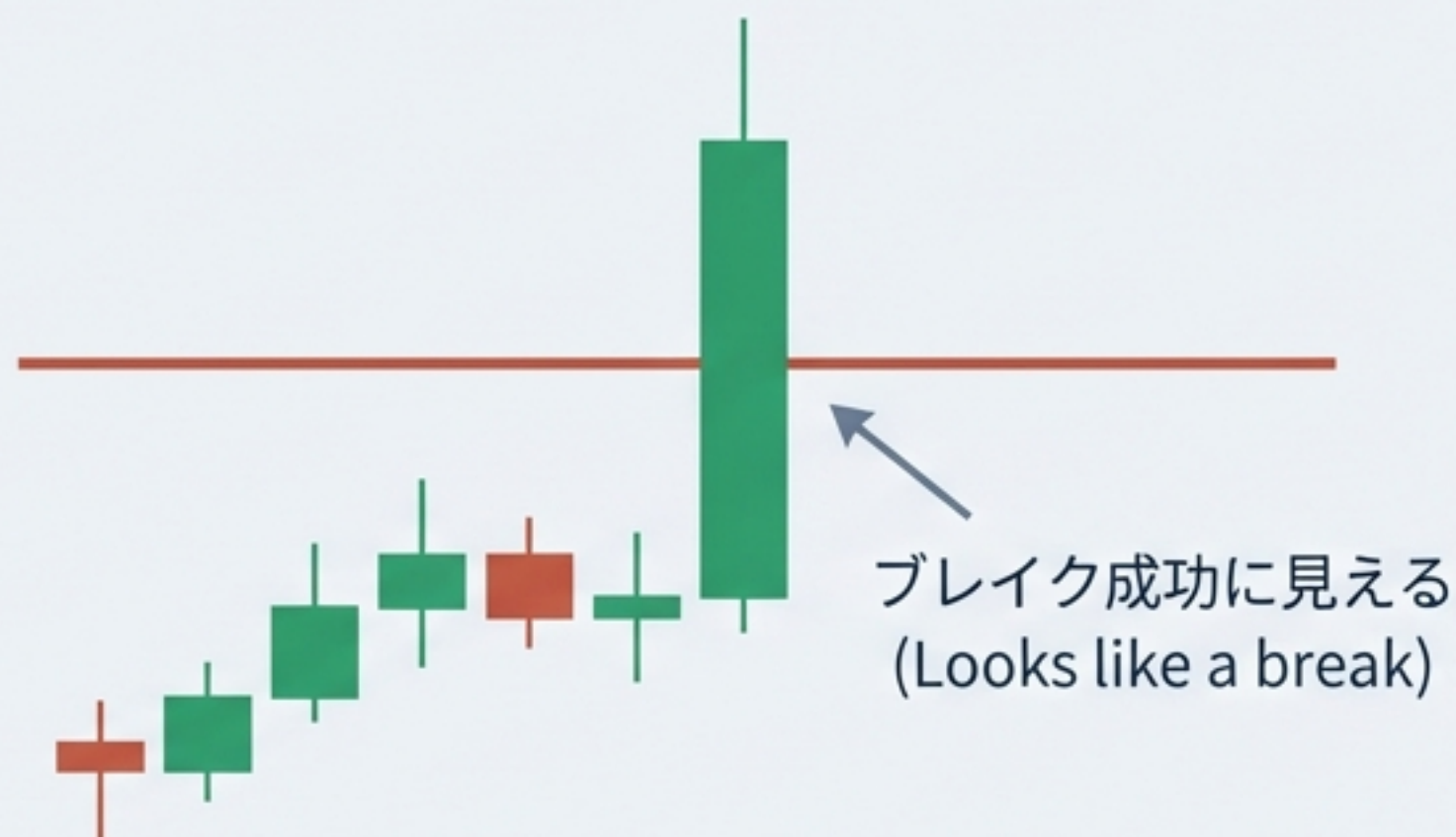


レジスタンスを背に売っていた人たちは、ブレイクアウトで含み損を抱えます。彼らは「せめて建値まで戻ってくれ」と祈っています。

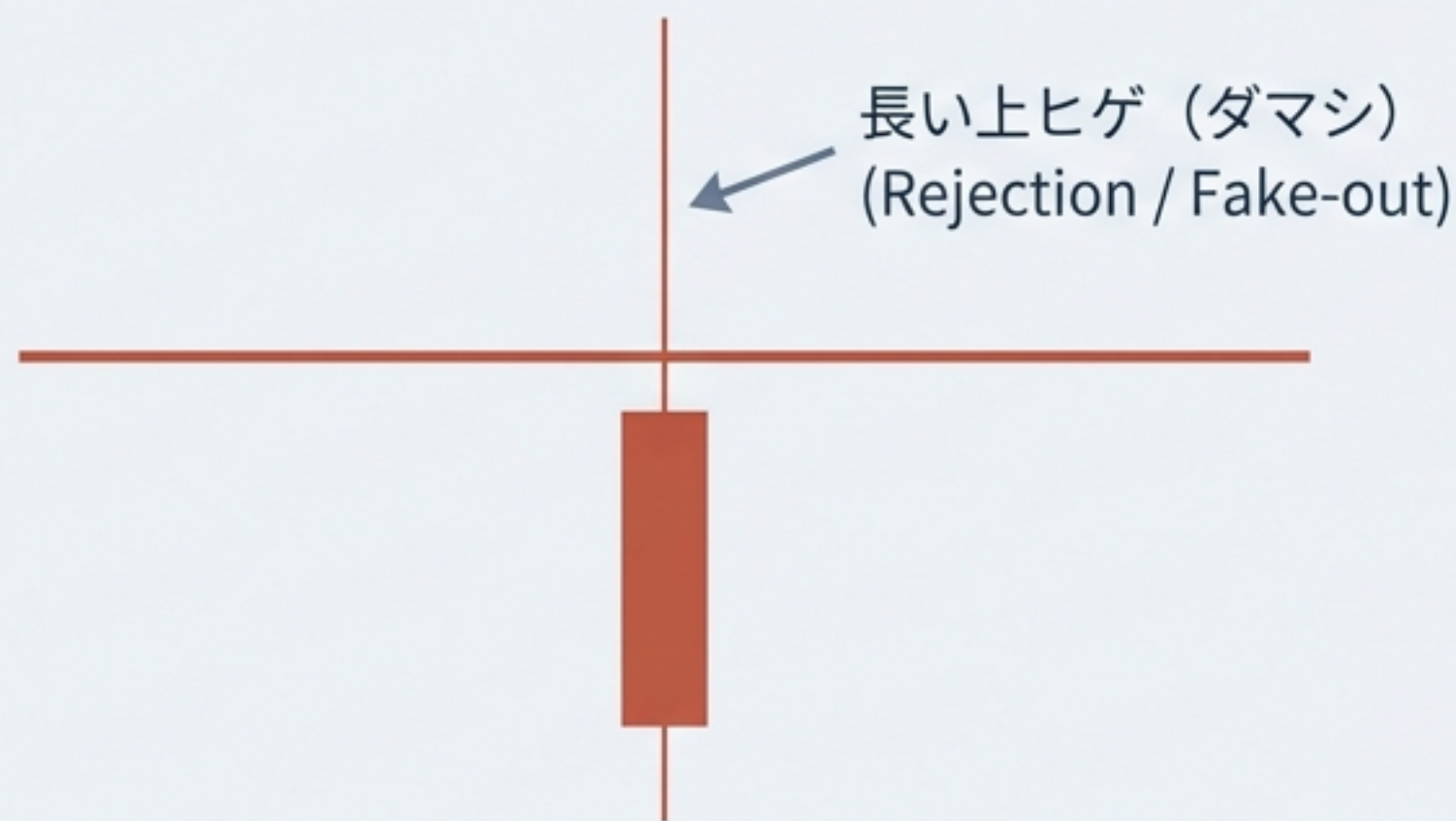
価格が戻ってきた瞬間、彼らの「買い戻し（損切り・建値決済）」が殺到します。これが価格を支える圧力の正体です。

ブレイクアウトが「ダマシ」に見える本当の理由

15分足 / 15-min Chart



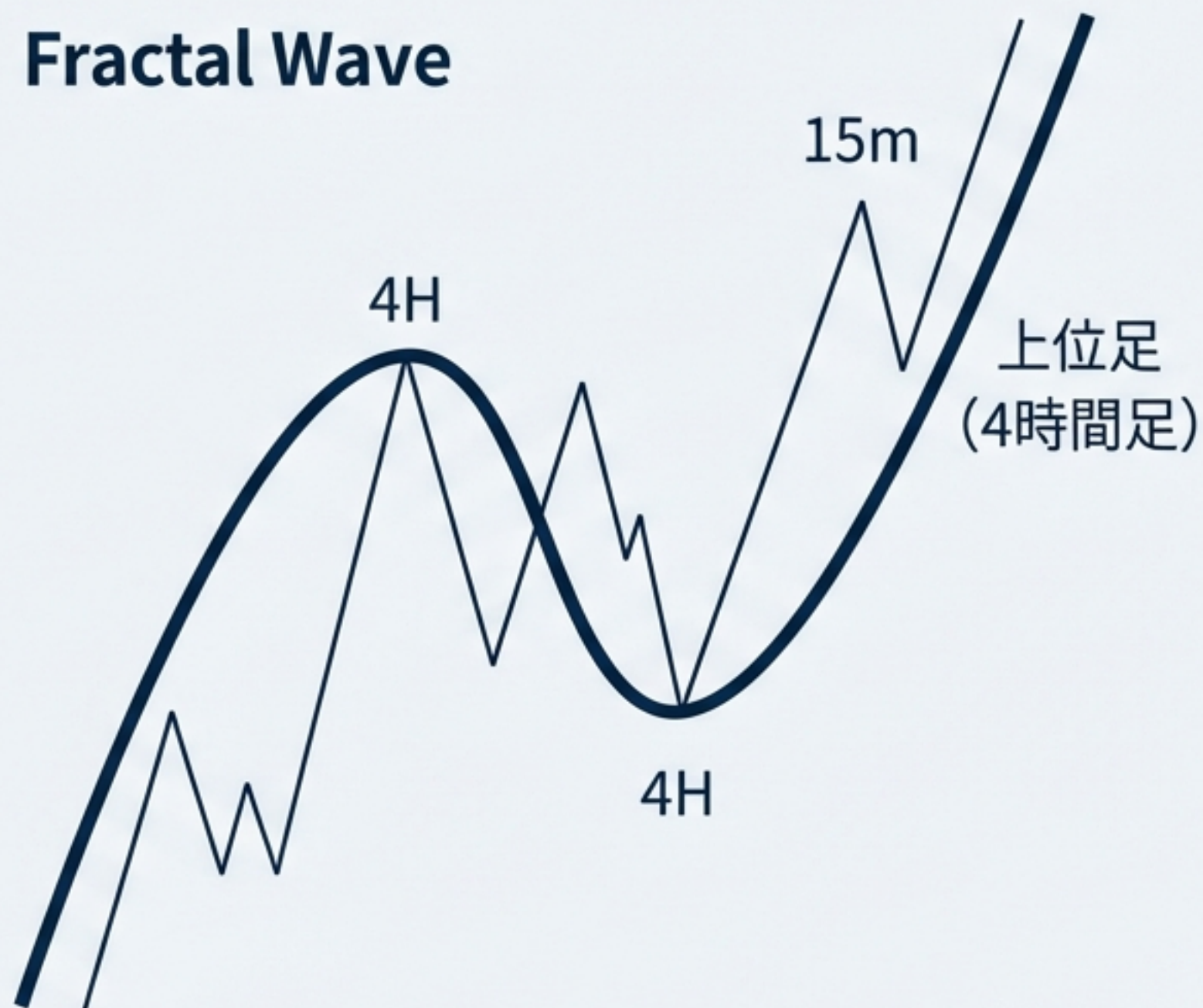
4時間足 / 4-Hour Chart



下位足（15分）ではブレイクに見えても、上位足（4時間）では単なる「上ヒゲ」で終わっている。この認識のズレが、あなたを巻き込む罠の正体です。

押し戻しは時間軸ごとに段階的に起きる

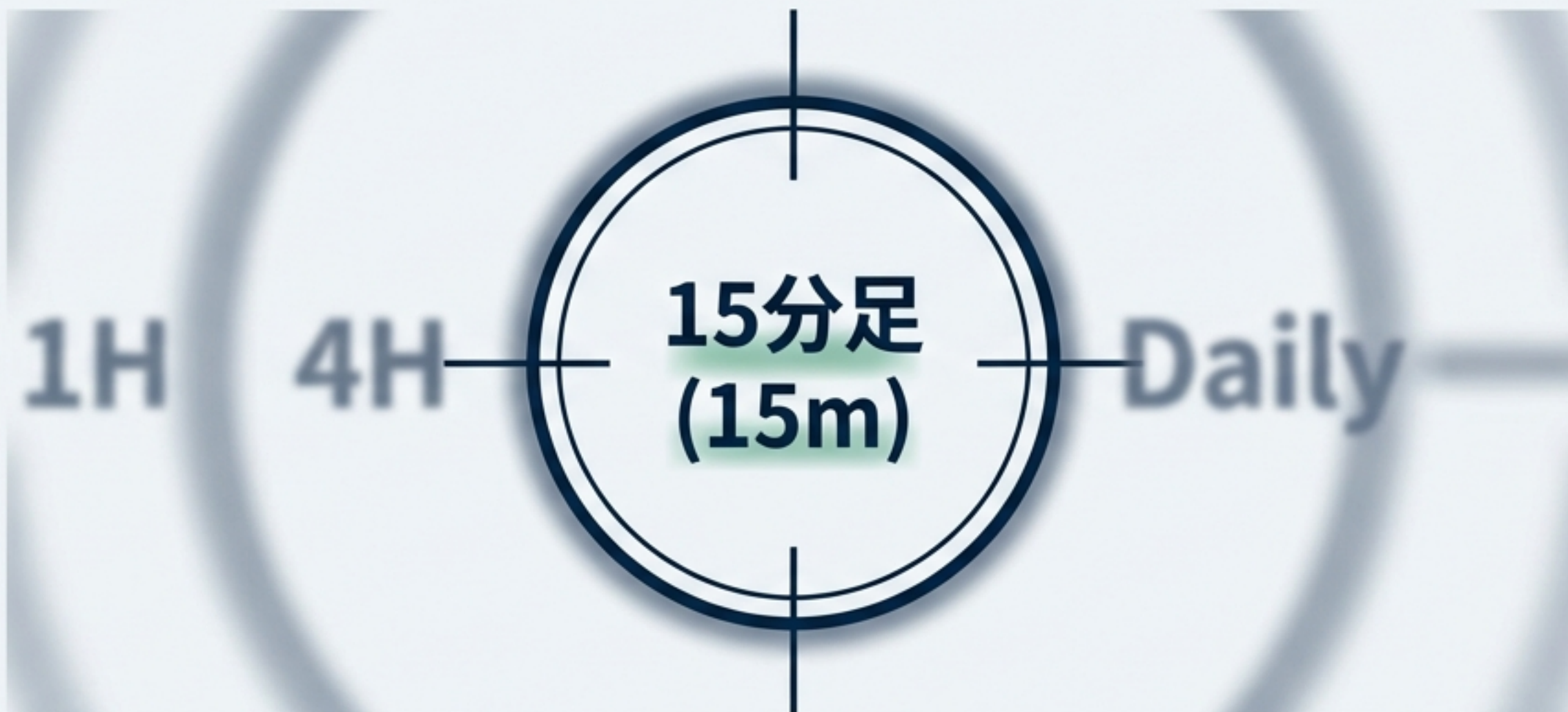
Fractal Wave



- **15分足でブレイク**
→ 15分足レベルの押し戻しが発生
- **1時間足でブレイク**
→ 1時間足レベルの押し戻しが発生
- **4時間足でブレイク**
→ 4時間足レベルの押し戻しが発生

**注意：15分足のブレイクを見て、4時間足レベルの大きな伸びを期待していませんか？
その後に控える上位足の押し戻しに巻き込まれないよう注意が必要です。**

混乱を防ぐ唯一の方法：自分の「戦場」を決める

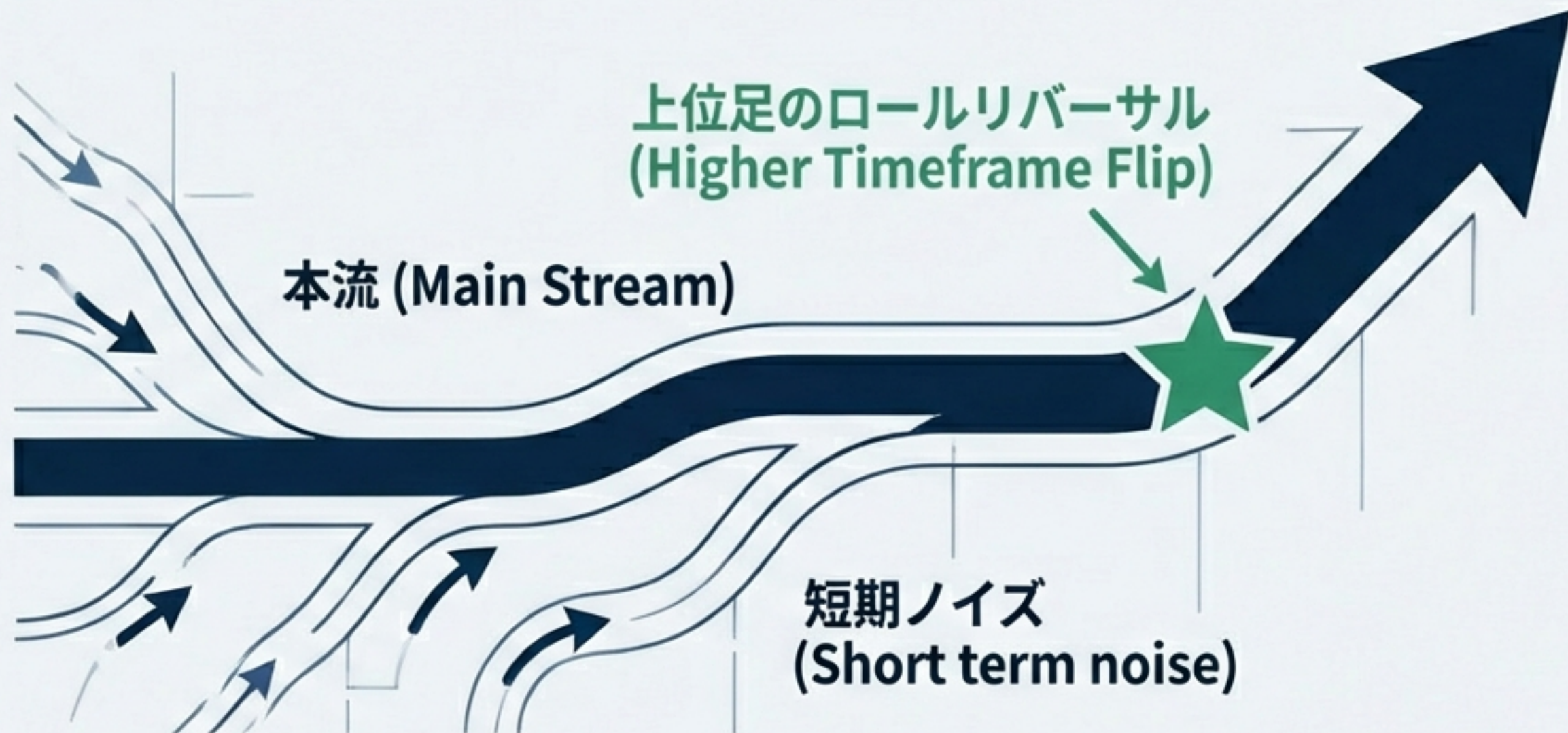


自分がトレードしたい時間軸を明確にしましょう。

- ・スキャルピングなら、15分足のロールリバーサル。
- ・スイングなら、日足のロールリバーサル。

時間軸をごちゃ混ぜにするのが、最も危険な行為です。

最も利益が伸びる「本流」に乗る



最も美味しいポイントは、上位足でサポレジ転換が確定した後のロールリバーサルです。

下位足の動きは、上位足から見れば単なるノイズ。上位足レベルでブレイクと押し戻しが完了した時こそ、数日～数週間続く「本流」のトレンドが発生します。

水平線だけではない：トレンドラインの裏側



この理論はトレンドラインにも当てはまります。ラインを割ったからといって即エントリーではありません。

どの時間軸でトレンドが崩れ、どの時間軸でリターンムーブが起きているかを確認することが重要です。

環境認識なしのロールリバーサルは危険



Blind Trading



With Context

テクニカルだけで判断するのは、地図を見ずに知らない街を歩くようなもの。
必ず「背景」を確認しましょう。

- ✓ 直近の高値・安値は更新されているか？
- ✓ 現在は「押し目買い」の局面か、「戻り売り」の局面か？
- ✓ どの時間軸のトレンドが優位か？

トレード前に必ず問うべきこと

**「今起きている押し戻しは、どの
時間軸のラインに対して、どの
時間軸で発生しているのか？」**

この視点を持つだけで、ブレイクアウトへの恐怖や、
ダマシに振り回される感覚は劇的に減っていきます。

相場の「本流」を見極めるサイン



1. 心理を読む
(逃げ遅れた人の決済)



2. 時間を揃える
(見る足と狙う足を一致)



3. 本流を待つ
(上位足の転換が最強)

焦らず、チャートを見ながら「これは何足レベルの動き？」と考える癖をつけていきましょう。